

スタートアップガイド

856-129216-001-00 2010年 11月 初版

箱を開けてから装置を使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。

- お客様登録申込書
- 保証書
- 「ユーザーズガイド」CD
- 電源コード
- 横置き用ゴム足
- 増設ハードディスクドライブ用ネジ
- スタートアップガイド(本書)
- 使用上のご注意
- キーボード
- マウス



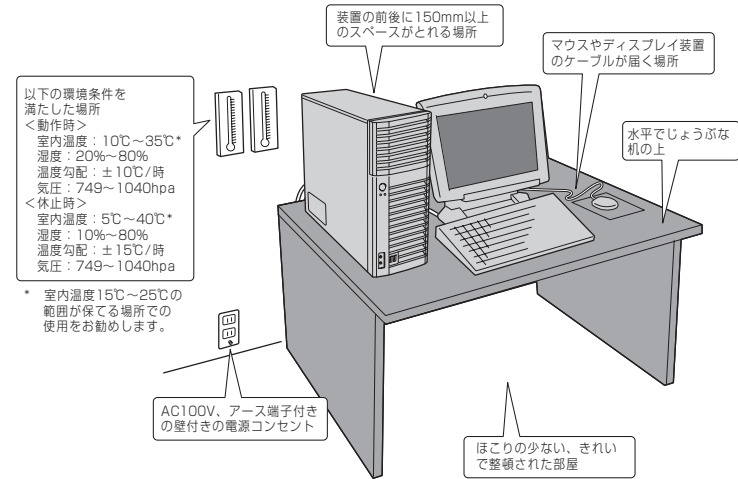
● 添付の「ユーザーズガイド」CDやバックアップDVD/CDは、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

● 上記添付品は、本体のみのもので、BTO(工場組込出荷)製品などは「組込製品・添付品リスト」をご確認ください。

* 「ユーザーズガイド」CD内にはユーザーズガイドが格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のPCへインストールしておいてください。

Step 2 適切な場所に設置する

Expressサーバの設置場所を決めます。



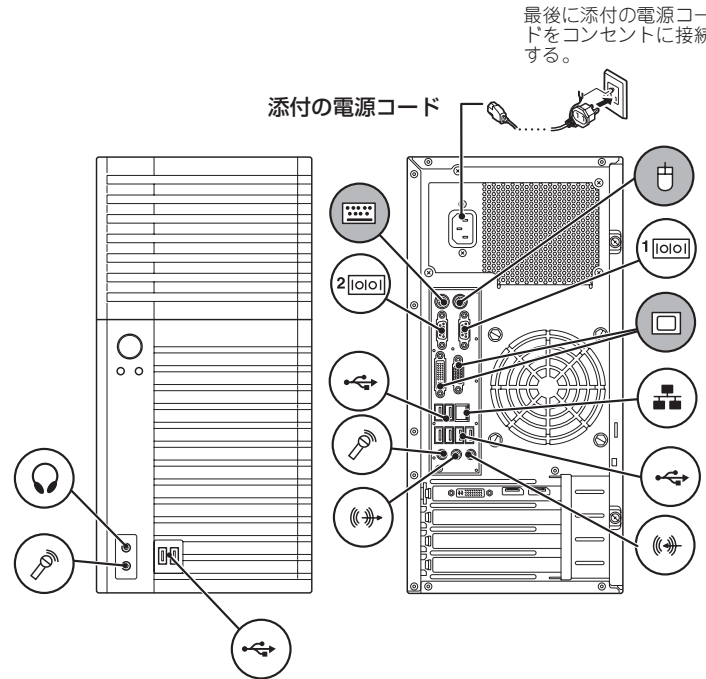
本装置は縦置きでも横置きでも設置することができます。詳しくは「ユーザーズガイド」CD内のユーザーズガイドを参照してください。

はじめに表面の使用上のご注意を必ずお読みください。

安全に関わる大切な注意事項が記載されています。

Step 3 ケーブルを接続する

ケーブルをExpressサーバにあるコネクタ*に接続します。



アイコン	接続する機器
	キーボード*1
	マウス*1
	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tインタフェース機器(Hubなど)
	USBインタフェース機器(Hubなど)*2
	シリアルインタフェースを持つ機器 数字はポート番号を示す
	ライン入力端子を持つ機器
	ライン出力端子を持つ機器 ヘッドフォン端子兼用
	ディスプレイ装置*1、*3
	マイク
	ヘッドフォン

*1 初めてのセットアップでは、で示す機器だけを接続する。その他の機器は、オペレーティングシステムのセットアップを完了してから接続する。

*2 対応するドライバが必要です。

*3 別売りのディスプレイボードを実装している場合は、ディスプレイ装置はディスプレイボードからのコネクタに接続してください。

安全に関するご注意

装置をセットアップする前には、表面の使用上のご注意をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

* 本製品を安全に取り扱うための注意事項やより詳しい説明が記載されているユーザーズガイドは添付の「ユーザーズガイド」CDの中にPDFファイルとして格納されています。

警告

- めれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 内蔵型オプションの取り付け・取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- 本書および「ユーザーズガイド」に記載されている内容を除き、分解・修理・改造を行わないでください。

注意

- 持ち運びの際は装置の底面をしっかりと持って運んでください。(フロントマスクには手をかけないでください。)
- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

Step 4 電源をONにする

前面のPOWER/SLEEPスイッチを押して電源をONにします。電源ON後にオペレーティングシステムのセットアップが始まります。



電源ON後、ディスプレイ装置にエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージの内容やビープ音の鳴り方をメモして保守サービス会社に連絡してください。

- 1 本体の光ディスクドライブにディスクがセットされていないことを確認する。
- 2 ディスプレイ装置の電源をONにした後、本体前面のPOWER/SLEEPスイッチを押す。
ディスプレイ装置の画面には「NEC」ロゴが表示されます。
- 3 装置の構成やシステムの用途に応じて、BIOSのセットアップをする。(通常は出荷時の状態で問題ありません)。設定を変更するためには、起動後、すぐに<F2>キーを押してください。BIOS(Basic Input Output System)セットアップユーティリティ「SETUP」が起動します。
- 4 オペレーティングシステムのインストールやシステムのセットアップをする。



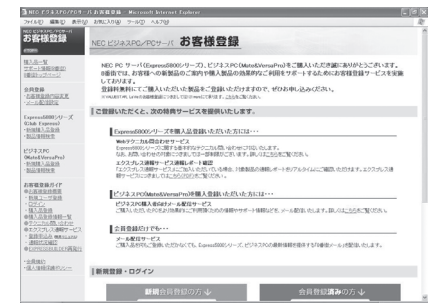
情報サービスについて

このコラムでは、Express5800シリーズに関する情報サービスについてお知らせします。

- <http://www.nec.co.jp/s70/>
製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。ぜひお立ち寄りください。

- お客様登録
Express5800シリーズご利用のお客様を対象に、さまざまな特典やサービスを提供するClubExpressのホームページです。

<http://club.expresss.nec.co.jp/>



- <http://www.fielding.nec.co.jp/>

NEC フィールディング(株)のホームページです。メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。

また、Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター

TEL. 03-3455-5800 (代表)

受付時間 / 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

月曜日 ~ 金曜日 (祝祭日を除く)



その他

本装置を安全に正しく取り扱うための説明や注意事項は、「ユーザーズガイド」CD内のユーザーズガイドで詳しく記載されています。

ハードウェアクイックリファレンス

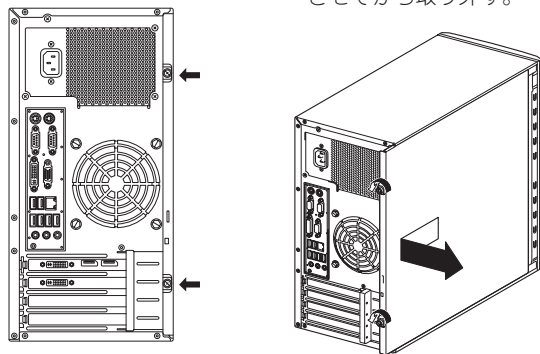
注意 ハードディスクドライブはオペレーティングシステムのセットアップ(ステップ4の「電源をONにする」)を完了するまで増設しないでください。

カバー類

レフトサイドカバー

内蔵デバイスの取り付け/取り外しの際は、左側のカバーを取り外します。

- ① ネジ2本を外す。
- ② 本体後方へ少しスライドさせてから取り外す。

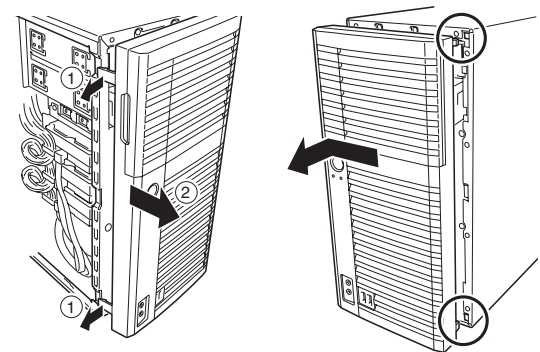


取り付けの際は、カバーにある複数のフックを本体のシャーシにあるフックを受ける穴に差し込んでからスライドさせてください。

フロントマスク

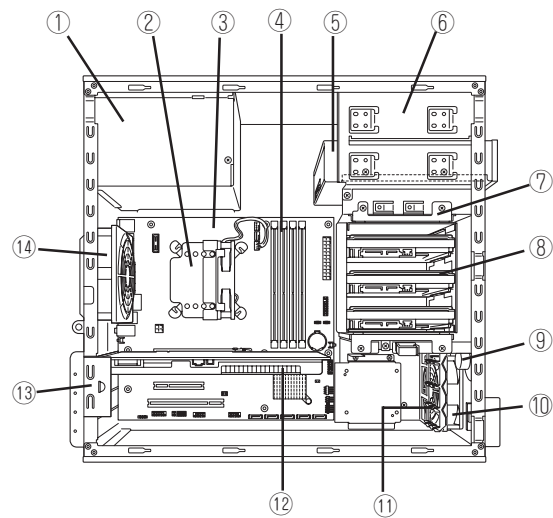
ハードディスクドライブや5.25型デバイスの取り付け/取り外しの際に取り外します。

- ① レフトサイドカバーを取り外した後、2つのリリースタブを外す。
- ② 反対側のタブを外して本体から取り外す。



フロントマスクは、上記の取り外し手順と逆の手順で取り付けすることができます。フロントマスクの右側にある2つのタブを本体前面の穴に差し込んでから左側を本体に向けて押し、リリースタブでロックしてください。

システム構成

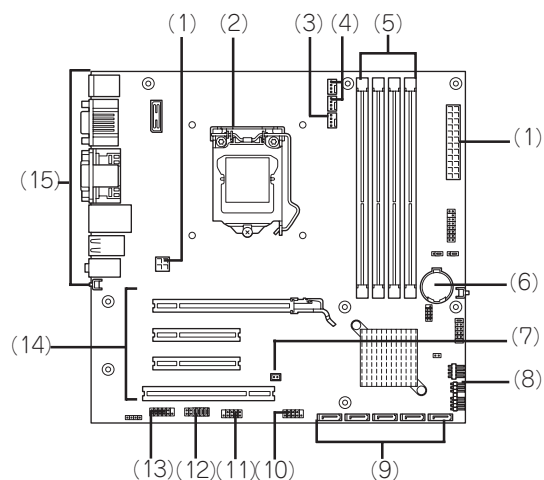


- | | |
|-----------------|---------------------|
| ① 電源ユニット | ⑩ 冷却ファン(フロント) |
| ② ヒートシンク | ⑪ PCIガイドレール |
| ③ メモリ(DIMM) | ⑫ グラフィックスボード*1 |
| ④ マザーボード | ⑬ PCIボードリテンションスプリング |
| ⑤ 光ディスクドライブ | ⑭ 冷却ファン(リア) |
| ⑥ 5.25型デバイスベイ | |
| ⑦ ハードディスクドライブベイ | *1: 組み込み出荷時。 |
| ⑧ ハードディスクドライブ | |
| ⑨ スピーカ | |

マザーボード上のパーツレイアウト

本体背面側

本体前面側

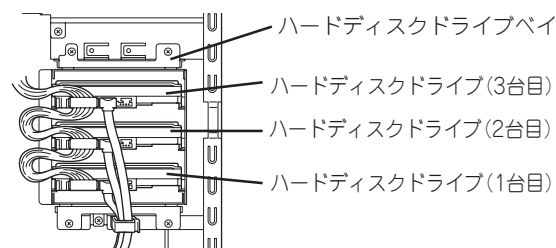


- | | |
|----------------------|------------------------------|
| (1) 電源コネクタ | (9) SATAコネクタ |
| (2) CPUソケット | (右から#0→#1→#2→#3→#4) |
| (3) 水冷ユニット用コネクタ | (10) USBコネクタ(前面用) |
| (4) システムファンコネクタ(背面用) | (11) USBコネクタ(内蔵用) |
| (5) DIMMソケット | (12) CMOSメモリクリア用ジャンプスイッチ |
| (左から#3→#1→#4→#2) | (13) オーディオコネクタ(前面用) |
| (6) リチウムバッテリー | (14) PCIボードスロット(4スロット) |
| (7) メモリ用ファンコネクタ | (上からPCI#1→PCI#2→PCI#3→PCI#4) |
| (8) POWERスイッチLEDコネクタ | (15) 外部接続用コネクタ |

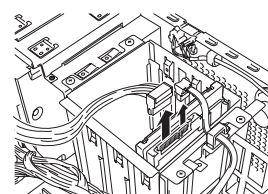
ハードディスクドライブ

取り付けスロット

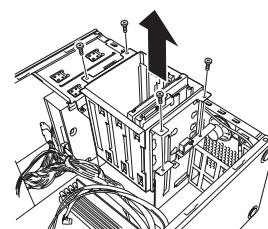
本体の内部には、ハードディスクドライブを最大3台取り付けすることができます。取り付け前にハードディスクドライブに添付の説明書を参照してハードディスクドライブの設定をしてください。



1. 搭載済みのハードディスクドライブに接続しているインターフェースケーブルと電源ケーブルを外す。

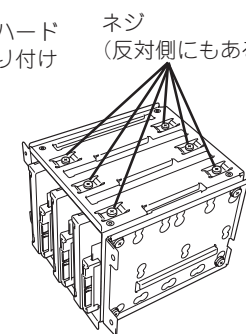


2. 本体前面からハードディスクドライブベイを固定しているネジ4本を外し、ディスクドライブベイを取り外す。

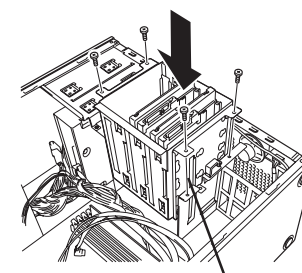


3. ハードディスクドライブをハードディスクドライブベイに取り付けて固定する。

ネジは本体に添付のネジを使用する。



4. ハードディスクドライブベイを本体のフレームにネジ(4本)で固定する。



本体のフレームにあるガイドにハードディスクドライブベイのフックを合わせて挿入する

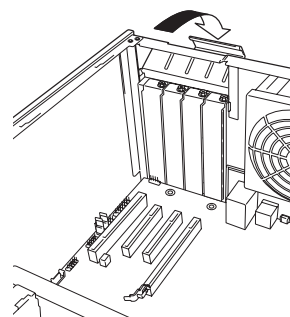
5. すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認する。

詳しくは「ユーザーズガイド」CD内のユーザーズガイドを参照してください。

PCIボード

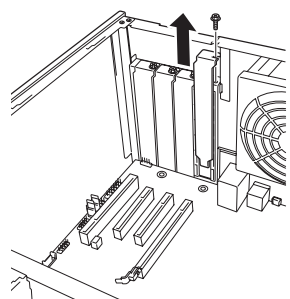
取り付けるボードによっては、取り付け前の事前準備や取り付け後のケーブル配線などが必要なものもあります。ユーザーズガイドやボードに添付の説明書も併せて参照してください。

1. PCIボードリテンションスプリングを解除する。

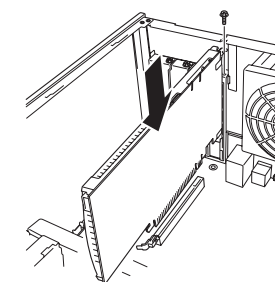


2. 取り付けるスロットと同じ位置(高さ)にある増設スロットカバーをネジを外し、取り外す。

取り外した増設スロットカバーは大切に保管してください。

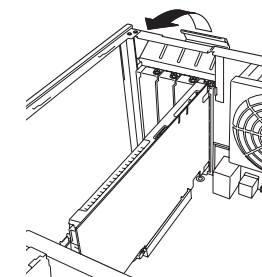


3. ボードのリアパネルをフレームのパネにしっかりと当ててからボードの接続部分がスロットに確実に接続するようにしっかりとボードを押し込み、ネジで固定する。



うまくボードを取り付けられないときは、ボードをいったん取り外してから取り付け直してください。ボードに過度の力を加えるとボードを破損するおそれがありますのでご注意ください。

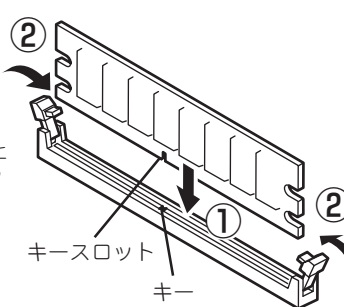
4. PCIボードリテンションスプリングを元に戻し、ロックする。



DIMM

DIMMの取り付け/取り外しの際は、PCI#1のPCIボードを取り外してください。詳しくは「ユーザーズガイド」CD内のユーザーズガイドを参照してください。

1. DIMMのキースロットとソケットのキーの位置を合わせ、垂直にまっすぐ押しつける。
2. 左右のレバーを持ち上げて、DIMMをロックする。



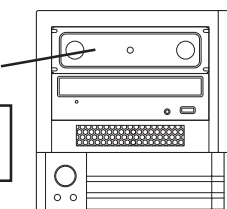
ファイルデバイス

ファイルデバイスの取り付け前の事前準備や取り付け後のケーブル配線などについては「ユーザーズガイド」CD内のユーザーズガイドを参照してください。

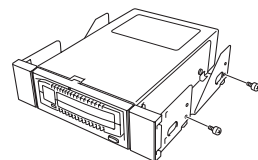
1. ダミーカバーを取り外す。

ダミーカバー

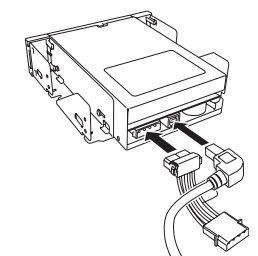
取り外したダミーカバーは大切に保管してください。



2. ファイルデバイスの右側面に本体実装用のネジ(2本)を取り付ける。

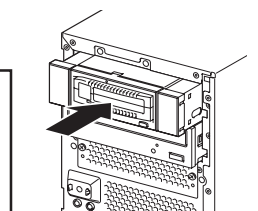


3. ファイルデバイスの背面にインターフェースケーブルと電源ケーブルを接続する。

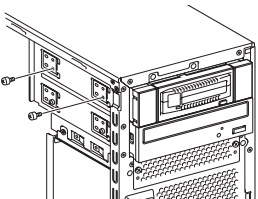


4. ファイルデバイスを本体に挿入する。

ファイルデバイスの背面に接続したケーブルが破損しないように気を付けてゆっくりとファイルデバイスを本体に挿入してください。



5. ネジ(2本)でファイルデバイスを本体に固定する。



6. ファイルデバイスの背面に取り付けたインターフェースケーブルと電源ケーブルのもう一方のコネクタを接続する。